

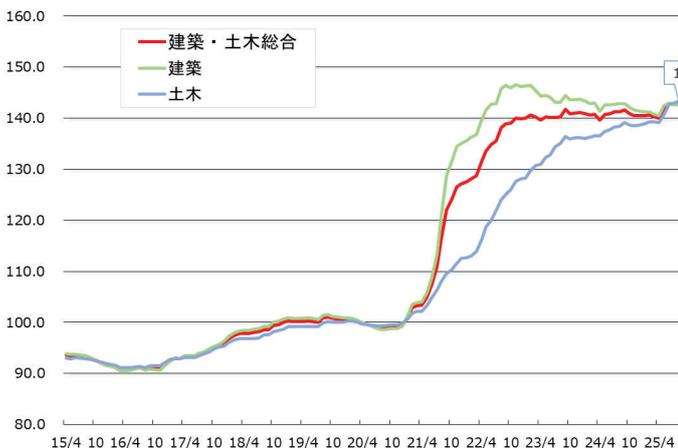
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年8月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.9	+0.2	+1.6
建築	142.6	±0.0	-0.2
土木	143.4	+0.4	+5.0

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+20.1新潟●コンクリート二次製品：+9.9東京、+0.9福岡●瀝青材：+2.7札幌、+2.0仙台、+1.9新潟・高松、+1.8広島、+1.7名古屋、+1.6大阪・福岡、+1.3東京・那覇	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-2.0那覇、-1.8高松、-1.3大阪、-1.1福岡、-1.0広島、-0.6東京・名古屋、-0.5札幌・仙台、-0.2新潟
建築	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+19.5新潟●コンクリート二次製品：+9.1東京、+1.4福岡	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-2.5那覇、-2.3高松、-1.7大阪、-1.2広島・福岡、-0.7東京、-0.5名古屋、-0.4札幌・仙台、-0.3新潟
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+20.9新潟●コンクリート二次製品：+12.1東京●瀝青材：+5.5札幌、+4.7東京・名古屋・大阪・広島、+4.4福岡、+4.3仙台・新潟・高松、+3.4那覇	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-1.2高松・那覇、-1.0福岡、-0.9広島、-0.6仙台・名古屋、-0.5札幌・大阪、-0.2東京、-0.1新潟

指数集計対象資材の市況

8月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.2ポイントの142.9となり、2か月前の過去最高値に並んだ。指数を建築、土木別にみると、建築指数は前月比横ばいで推移したが、土木指数は同0.4ポイント上昇の143.4となり、4か月連続で最高値を更新。土木系資材の市況上昇が相次ぎ、これが総合指数の上昇・高止まりの要因となっている構図が浮かぶ。足元では、需給緩和を背景とした普通鋼鋼材の市況軟化が全国的に継続しており、指数を下押す要因となっているが、生コンクリートやコンクリート二次製品といった地区資材の市況は上昇が続いている。地区により上昇頻度や騰勢は異なるものの、上昇幅が大きいことから、鋼材下落の影響が相殺され指数の伸びに繋がっている。先行きも、同様の傾向が続く見通し。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212